

東京大学教養学部

オルガン演奏会

第138回演奏会

2018年6月20日(水) 19時00分開演

Wed. 20 June 7:00 pm at Komaba Campus, The University of Tokyo

ソプラノ：藤田 美奈子 オルガン：井上 圭子

Soprano: Minako Fujita, Organ: Keiko Inoue

※プログラム曲名後の[S&O]はソプラノとオルガン、[O]はオルガンソロを表しています。

G. F. ヘンデル Georg Friedrich Händel (1685–1759)

歌劇『セルセ』より 樹木の木陰で (「ラルゴ」) [S&O]

Ombra mai fu [“Largo”] (dall’opera «Serse»)

歌劇『リナルド』より 私を泣かせてください [S&O]

Lascia ch’io pianga (dall’opera «Rinaldo»)

J. S. バッハ Johann Sebastian Bach (1685–1750)

幻想曲とフーガ ハ短調 [O] Fantasie und Fuge c-moll BWV537

J. S. バッハ (原作) / Ch. グノー (改作) / H. ゴツェフスキ (新改作)

Johann Sebastian Bach / Charles Gounod (1818–1893) / Hermann Gottschewski (*1963)

バッハの第一番の前奏曲についてのグノーのメディテーションについての

メディテーション (「アヴェ・マリア」) [S&O]

Méditation sur la méditation de Gounod sur le premier prélude de Bach («Ave Maria»)

F. メンデルスゾーン バルトルディ Felix Mendelssohn Bartholdy (1809–1847)

オルガン・ソナタ 第5番 二長調 [O] Fünfte Sonate für die Orgel op. 65,5

G. フォーレ Gabriel Fauré (1845–1924)

ピエ・イエズ (「レクイエム」より) [S&O] Pie Jesu (du «Requiem»)

P. マスカーニ Pietro Mascagni (1863–1945)

アヴェ・マリア [S&O] Ave Maria

バルトーク B. Bartók Béla (1881–1945)

ルーマニア舞曲 [O] Román népi táncok

T. デュボア Théodore Dubois (1837–1924)

トッカータ [O] Toccata

G. プッチーニ Giacomo Puccini (1858–1924)

歌劇『つばめ』より ドレッタの素晴らしい夢 [S&O]

Chi il bel sogno di Doretta (dall’opera «La Rondine»)

歌劇『ジャンニ・スキッキ』より 私の愛しいお父さん [S&O]

O mio babbino caro (dall’opera «Gianni Schicchi»)

東京大学教養学部 900 番教室 (講堂)

入場無料 (先着 500 名) 開場 18 時 30 分

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会 協賛：東大駒場友の会

<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/> tel 03-5454-6139 (駒場博物館)

演奏者プロフィール



藤田 美奈子 (ソプラノ)

Minako Fujita

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院オペラ科修了。毎日新聞社主催・全日本学生音楽コンクール・高校の部第2位、大学一般の部全国大会第1位。

小澤征爾音楽塾『フィガロの結婚』では急遽代役として本公演に出演。新国立劇場では『賢い女』『アラベラ』に出演。第11回江副財団オペラ奨学生として渡伊。またミラノ音楽院奨学生、野村国際文化財団奨学生、ローマ・ミュージック・ファンデーション在外音楽研究生として研修を重ねる。留学中にカリ国際音楽コンクール第1位をはじめテルニ、ベニア ミーノ・ジューリ、ピエツラ、カルロス・ゴメスなどイタリアにて多数入賞。ローマで開催された、指揮者チョン・ミョンフン氏による『アジアの輝き』声楽オーディションにて最終選考者。イタリア・Cagliari市オペラ・フェスティバルにおいてヘンデル『アリオダンテ』ダリンダ役にてヨーロッパ・オペラデビュー。その後『ラ・ボエーム』『愛の妙薬』『ドン・パスクワレ』『ランメルモールのルチア』『奥様女中』『ダイドーとアエネアス』など出演多数。

帰国後も大野和士氏の『レクチャーコンサート』(in東京・大阪・広島)や西本智実氏の『第九』、三ツ橋敬子氏の『ヴェルディ・レクイエム』、東京・春・音楽祭の『バルシファル』『タンホイザー』牧童役などに出演し、NHK交響楽団や東京交響楽団と共演し好評を博す。今年7月に待望のCDをリリース。7月21日(土)川口リリアにて発売記念コンサートを開催予定。二期会会員。



井上 圭子 (オルガン)

Keiko Inoue

東京藝術大学器楽科オルガン専攻卒業、同大学院修了。廣野嗣雄、秋元道雄各氏に師事。その後ドイツ、フライブルク音楽大学で、Z. サットマリー氏に師事。ソロ科を卒業、国家演奏家試験に合格した。シカゴのロックフェラーチャペル、ボンでの国際オルガン音楽祭、パリ市からの招きでサン・トゥスタッシュ教会、香港国際音楽祭はじめ、ドイツ、フランス、デンマーク、スイス、アメリカ、ベルギー、フィンランド、チェコ、ポーランド、香港など各地で招かれ演奏。国内ではソリストとして全国各地のホールでの演奏会に出演。

またオーケストラとの演奏会も多く、フランス国立リヨン管、ブラハ放送響、ドレスデンフィル、N響、日フィル、都響、読響、東響、新星日響などとブーランク、ヘンデルのオルガン協奏曲、サン＝サーンスの交響曲第3番等を演奏。日本コロムビアより10枚のCDをリリース、NHK『芸術劇場』『名曲アルバム』、『題名のない音楽会』、『みゅーじかん』ほかテレビ、FMなどに出演。25年間神戸女学院大学音楽科にて後進の指導にあたった。2013年にはロシアMikael Tariverdiev国際コンクール、2015年はリトアニア国際オルガンコンクールの審査員に招かれた。川口リリアホール、キングズウェルホール(山梨)で演奏会の企画、またオルガン講座など、活動の幅を広げている。日本キリスト教団大森めぐみ教会オルガニスト。ホームページ <http://keiko-i.com>

駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏(森ビル株式会社初代社長)のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室(講堂)にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選抜された学生による学生選抜

コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」(東大駒場友の会)からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようお願いいたします。

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部
オルガン委員会 <http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/>
ピアノ委員会 <http://piano.c.u-tokyo.ac.jp/>
Tel. 03-5454-6139 (駒場博物館)
Tel. 03-3467-3536 (東大駒場友の会)

